

HAL		比較	大 学	
・職業若しくは實際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的とする ※学校教育法第124条	実践・実務	設置目的	学問・研究	・学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする ※学校教育法第83条
・文部科学大臣『職業実践専門課程』認定校 ・即戦力として通じる知識・専門技術を学ぶ ・企業と取り組むケーススタディも実施	実学が中心 企業と連携	カリキュラム	座学が中心 研究機関と連携	・専門的な分野に関する理論などを学ぶ ・一般教養の科目も多く（卒業単位の4割程度）、幅広い知識を養う
・業界のプロ経験を持つ専任教官と講師 ・職業人を育成することが主な目的 ・クラス担任制で責任を持って指導する	職業の経験者	指導陣	学問の研究者	・博士号を持った研究者や学者 ・論文を発表し、研究することが主な目的 ・クラス担任の先生がいない場合もある
・同世代も多いが既卒者も一定数おり、年齢層が幅広い ・同じ仕事・業界を目指す仲間と学ぶ	同じ夢・目標を持つ 幅広い年齢層	クラスメート	様々な夢を持つ 同年代	・同年代が多い ・様々な目的を持った仲間と学ぶ
・『国家資格 合格保証制度』を設置（詳細はP9） ・就職に有利となる各種資格取得や検定試験の対策など、積極的にバックアップ	学校が バックアップ	資格取得	個人で 勉強・受験	・資格に関する対策や受験の手続きなど基本的には個人で行う
・『完全就職保証制度』を設置（詳細はP7） ・就職ガイダンスを必修科目として実施 ・就職指導担任がマンツーマンで指導する ・姉妹校があるため全国的な就職活動が可能	学校主導	就職活動	学生主導	・企業情報の入手などはインターネットの就職活動サイトが中心となり、各自の責任で就職先を探す場合が多い
・『給与保証制度』を設置（詳細はP8） ・学科に即した専門知識や技術を求めた求人 ・教員と企業とのパイプからも求人が発生する ・姉妹校の求人情報も共有するため、全国的な求人情報が集まる	専門職	求人	一般職	・営業職・販売職等が多いため、学部・学科不問のケースがほとんどで、その結果、採用試験の倍率が高くなる
・大学・短期大学と同等の卒業資格として文部科学省が認める称号が付与される（詳細はP10）	高度専門士 専門士	卒業資格 称号	学士	・卒業者には「学士」の学位が与えられる ※学校教育法第104条
・『生涯バックアップシステム』で転職や再就職をバックアップ ・スキルアップに役立つ夜間部などを受講する際には選考料免除の卒業生特例が適用される	転職や再就職も バックアップ	卒業後のサポート	特にない 場合が多い	・明確なサポートがない場合がほとんど